

第4回 理事会 議事録案

日時：11月30日 19：00～

場所：日本医療福祉専門学校

出席者：稲垣、向、岩丸、佐藤、新美、澤田、佐久間、（以上理事）
山中、堀部、今別府（以上 委員長）、磯貝（事務局）

報告事項

会長

第4回 地域医療再生に関する三師会連絡協議会議参加報告（資料）

11月17日に開催され、下記事項が検討された

連絡方法をどうするか→今後の検討課題となった

一般の相談ブースを設けてはどうか？→資料あり検討必要

訪問リハ リーダー養成研修会報告（資料）

出席：愛知医療 堀部、ジェネラス 西村

三重県作業療法士会法人化が決定

副会長：なし

事務局：

名簿の発送は、諸事情により1月末に延期

会員数：1408名（納入者：1163名+1年未納：146名+2年未納：99名）

納入者：1163名 1年未納：146名 2年未納：99名

3年未納：81名 4年以上未納：81名

→督促方法検討

郵送は封を開けてもらえない可能性があるが、人数多く電話対応は難しい

広報部

ニュース発送（11月30日～12月1日）

学術部：なし

教育部

協会の生涯教育推進委員会に出席

来年度、現職者選択研修会の領域は、「精神障害」と「老年期障害」の2領域で

保険部

12月25日に情報交換会を実施予定

あいち福祉にて定例の情報交換会を開催予定

福利部

11月7日の交流会について（資料2部）

機関誌編集委員会：なし

表彰選考委員会：なし

規約委員会：なし

推進事業委員会：なし

法人化準備委員会：別紙参照

→税理士に無料相談を受けた

第10回 東海北陸学会（資料）

今後の課題

- ・ 研究に関する研修を開催する必要があるのではないか
- ・ 参加者が低迷（365日勤務の影響か）を考慮し、時期・会場の検討が必要
- ・ 業者などからどこが事務局か問い合わせあり、書類の整理必要

赤字は県土会で補填は前回理事会で承認されているため支払う

プログラム集の扱いをどうするか→各養成校に希望を聴取して配布する

決算は1月中旬までに作製し、1月の理事会に提出する

第19回 愛知県学会

特別講義：県立広島大学 吉川ひろみ先生

ワークショップ：3分野の実践報告を行う予定

東海北陸支部

第2回支部長会報告

士会を年度内に変わる際、士会によって会費納入制度が違うため、退会・会費免除証明
書作成案が出ている

→愛知県士会の免除規約について、次の総会で検討する

検討事項

会長

地域医療再生に関する連絡協議会、相談業務について

1/6～2/6の日曜日4回開催予定、12月の会議にて人数が決定される

一般の会員に活動協力要請していき、士会活動に参加するきっかけとしてはどうか

→広報して協力要請する日時がないため、人数決定後、理事より数名推薦してもらう

名古屋市 介護保険認定委員の推薦について（南区）

1名欠員あり→新美理事に決定

代議員制度について

協会の総会成立が難しくなりつつあり、代議員制度を敷き、各県士会から5名ずつ出
す案が出ている

交通費、宿泊費の費用負担を協会にお願いしたい旨を意見として出した

→県士会の選挙で出すのか？協会に意見を求めていく

会費納入について（資料）

協会の退会ルールが変更し、県士会もできる限りあわせる方向で検討してもらいたいという意見あり、どうするか

→払ってない人が意見を述べることは法人として問題あり、法人化にあたっては揃えていく方がよい

1年にすると組織率が下がる可能性あるが、規約変更・周知を考慮しあわせていく
組織率については、どのように入金する機会を設けるかを検討していく（各研修会・研究会にて納入するブースを作る、研究会にブース委託など考える）

平成23年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度について

次回ニュースにて、会員へ告知予定

愛知県の申請は少なかった

協会の倫理委員会窓口を立てるように要請あり

協会に相談多くなっているため、県士会の窓口を協会HPに掲載する
稲垣会長窓口になっている→変更しない

副会長：なし

事務局：12月末に督促状発送予定

→封筒に目につきやすい工夫をする

保険部：なし

広報部：なし

学術部：学術部第2回研修会

テーマ 臨床現場におけるコーチングテクニック（仮）

講師 偕行会リハビリテーション病院副院長

田丸司先生？

開催時期 2011年3月初旬

場所 日本福祉大学名古屋キャンパス（鶴舞駅）

教育部：なし

福利部：なし

規約委員会：なし

表彰選考委員会：なし

機関誌編集委員会：なし

推進事業委員会：なし

法人化準備委員会：

委員の推薦：大井宏泰先生（成田第II病院）

宗像千沙子先生（刈谷豊田総合病院東分院）

→承認

税理士の選定

→大井会計事務所で承認

所長・税理士ともに理事会に出席する予定

各部会の詳細報告が必要になる可能性あり

選挙管理委員会：なし

その他

規約委員長の推薦（若本隆司：名古屋医専）

→承認

次々期学会長について

日本福祉大、来島先生に打診

①開催前年度はすでにスケジュールが埋まっており、準備に十分な時間が割けない。

②認知症研究会自体も4、5名の世話人で運営している状況であり、マンパワーの面で、現時点で学会の企画・運営を引き受けるのは厳しいのではないかと。

とのことで、今回のお話しについては辞退したいとのことでした。

ただし、勉強会が主体となって学会を運営していくこと自体には肯定的なお返事をいただいております。もう少し余裕を持ってお話しを進めれば引き受けていただけそうな印象でした。

→老年期分野で打診先を探す

老健協会の各支部に打診をかける

委員の推薦時に会費納入を確認するため、稲垣会長に確認すること

現職者研修会の事例検討について

SIGや学会での事例発表は読み替え可能

認定OTがいる研究会にて事例発表の読み替えは、県士会裁量になっているが、どうするか

→枠は広げず、下記を教育部に確認する

・県士会より研究会に運営委託できるか？

・現職者研修の症例報告の日程を増やすことはできるか？